

Panasonic®

接続設定ガイド (施工説明付き)

- 本書の表記: 本機またはカメラ
- 設置のしかた (P.13~21)

屋外レコーディングカメラ

品番 **VL-CA10X** バイエル シーエー イックス **電源直結式**

確認と
準備

カメラの
設置

カメラ
接続

困った
とき

カメラを設置後、初回接続をする前に必ずお読みください。

- ① スマートフォンで「おうちレコーダー」アプリを検索してインストールする

おうちレコーダー



- ② スマートフォンの設定画面からWi-Fi®設定をONにして本機の初期SSIDを選択し、初期パスワードを入力する
(初期SSIDとパスワードの詳細はP.22)

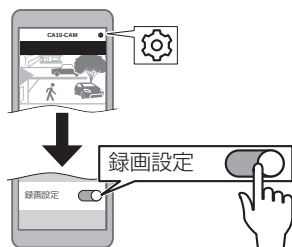
- ③ アプリを起動し、画面に従って初期パスワードとSSIDを変更する

プライバシーを守るため、初期パスワードとSSIDを変更し、必ずP.22にメモしてください。

- 詳細設定はP.22~23をお読みください。

- ④ アプリを再起動後に右上の設定アイコン(⚙)をタップし、**[録画設定]**をONにする

- ONに設定するとカメラが録画を開始します。(OFFのままでは、録画されません)



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書付き

パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で
「**商品登録**」をお願いします。(詳細はP.35)

- 本書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(P.4~7)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、本書とともに大切に保管してください。
- 本書に記載のイラストや画面はイメージです。実際とは異なる場合があります。

本機は、盗難・侵入を阻止するものではありません。

発生した損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。



PNQX9308WA

PNQX9308WA F0824MG3114

Printed in Malaysia

もくじ

はじめに	2
本機について	3

確認と準備

安全上のご注意	4
各部の名前と働き	8
アプリをインストールする	9
使用上のお願い	10

カメラの設置

カメラの施工について	13
付属品の確認	13
取り付け位置と撮影範囲	14
設置上のお願い	14
カメラを設置する	17

カメラ接続

カメラ接続をする	22
アプリの取扱説明書(電子版)を 確認する	25

困ったとき

microSDカードについて	26
microSDカードの交換/取り出しと カメラ操作について	27
仕様	28
商標・著作権・ライセンス	29
困ったとき	30
保証とアフターサービス	36

はじめに

本書について

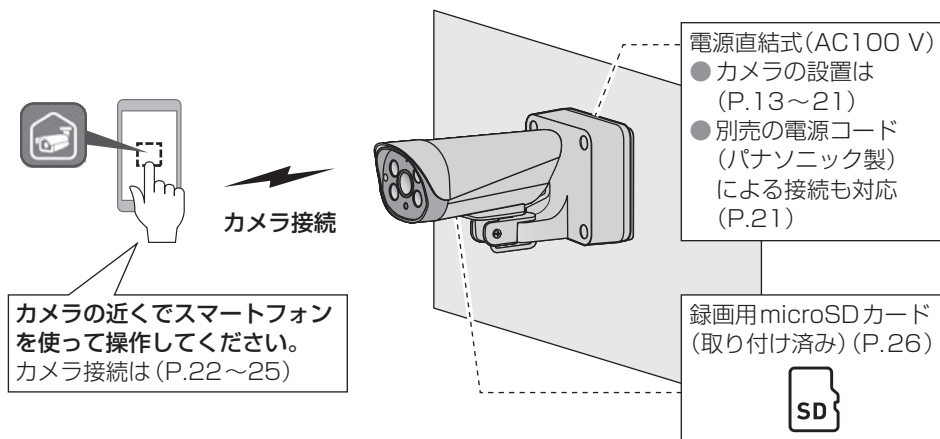
- 本書はカメラの設置・接続をするまでを説明しています。
詳細の操作・設定については、アプリの取扱説明書と合わせてお読みください。(P.25)
- 専用アプリ「おうちレコーダー」を「アプリ」と表記しています。
- 記載した情報、画面表示は2024年9月時点のものです。
内容は追加・変更になる場合があります。

別売の電源コードについて(P.21)

本機は別売の電源コード(パナソニック製)による接続にも対応しています。そのため、本書に電源コードに関する記述があります。

本機について

本機は動作検知・人検知をした映像をカメラ内のmicroSDカードに録画します。
また、スマートフォンに専用アプリ「おうちレコーダー」をインストールし、カメラと接続することで保存された録画の再生やダウンロードなどの機能を利用できます。



- スマートフォンで録画の再生やダウンロードなどをする場合、他のネットワークを介さない直接通信を行うため、カメラから約5 m以内に近づいてください。
(遠隔地からの操作はできません)
- お客様への引き渡し時にプライバシーを守るため、初期SSID/パスワードから変更してご利用いただくようにご説明ください。
- スマートフォンをカメラに接続するとご自宅のWi-Fiから切断されます。
(Wi-Fiに接続していない状態では、モバイル通信料がかかることがあります。なお、カメラとの通信にモバイル通信料は発生しません)
- カメラの接続を終了する場合はスマートフォンのネットワーク設定でカメラ接続を自宅のWi-Fiに切り替えてください。
- カメラの近くにカメラ接続をしたことがあるスマートフォンがあると、カメラに自動で接続されます。カメラを使用しない場合、ネットワーク設定でカメラのSSIDは自動接続をOFFに設定してください。(スマートフォンの機種によって操作が異なります)
- 次のような場合、カメラ内部の日時(時計)はリセットされ、録画データの日時(時計)がずれることがあります。アプリに接続すると自動で日時(時計)が補正されるため、定期的にアプリに接続してください。
 - 停電など電源が切断されたとき
 - 電源の瞬断などでカメラが再起動したとき
 - カメラ内のソフトのリセット機能が作動したとき
 - スマートフォンからカメラを再起動したとき
- カメラが検知した通知をスマートフォンにお知らせする機能はありません。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

施工やメンテナンスについて



警告

火災・感電・漏電などを防ぐために



禁止

■ 分解・修理・改造しない
→ 修理は販売店へご相談ください。

■ 雷のときは配線工事をしない

■ 指定以外の機器や電源コードは接続しない

■ 設置・配線工事の際の壁への穴開けや、電源コードを固定する際は、屋内配線・屋内配管を傷つけない

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V 以外での使用はしない
(たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因)



警告

火災・感電・漏電などを防ぐために



禁止

■ 電源 (AC100 V) を入れたまま配線工事をしない

■ 電源コードを窓やドアなどにはさみ込まない

(電源コードに傷がつくと、ショートによる火災・感電の原因)

■ 湯気・油煙・ほこりの多い場所に設置しない

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

・ 傷つける、加工する、熱器具に近づく、コードに過度なストレスを加える (無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど) (傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因)

→ 修理は販売店にご相談ください。

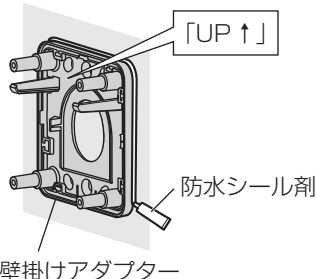


■ AC100 V の電源直結工事は資格を持つ者が行う

→ 電源配線工事には電気工事士の資格が必要です。販売店へご相談ください。

■ 壁掛けアダプターは「UP ↑」の表示が上になるように取り付け、取付面は壁掛けアダプター下部以外を防水シール剤などでコーキングし、すきまを埋める

(上下を逆にしたり、防水が不完全な場合、内部に雨水などが入り、火災・感電の原因)





警告

事故やけがなどを防ぐために



禁止

- 本機は医療機器や、自動ドア／火災報知機などの自動制御機器の近くに設置しない

(本機からの電波が医療機器や自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります)

- 不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁や天井には取り付けない

- ・ 石こうボード・コンクリートブロック・屋外に露出した木材・凹凸の激しい壁面・壁掛けアダプターの横幅より狭い柱など
(落下によるけがや、雨水などの浸入による火災・感電の原因)

- microSD カードや防水キャップは、乳幼児の手の届くところに置かない

(誤って飲み込むおそれあり)

→ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



注意

感電などを防ぐために



禁止

- 土中埋設配線する場合は、土中での接続はしない
(絶縁劣化により、感電の原因)



- 土中埋設配線する場合、配線は、電線管などを使用して防水処理をする

- 屋外配線する場合は、雷サージ保護のため、避雷器を取り付けるか、保護管を使用して埋設配線する

事故やけがなどを防ぐために



禁止

- 塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない

(取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因)

- 落下させたり、強い衝撃を加えない

- 施工やメンテナンスの際に不安定な台に乗らない※

(落下によるけがや事故の原因)

※お客様ご自身で実施する場合、安定した台を使って必ず

2人以上で行ってください。

作業に不慣れな方や、適切な

安全措置をとることが難しい

と感じる場合は、修理ご相談窓口 (P.38) にご連絡

することを強く推奨します。



- 安全ワイヤーを必ず取り付ける
(落下によるけがや事故の原因)

- ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける

(落下によるけがや事故の原因)



警告

火災・感電・漏電などを防ぐために



禁止

■ 分解・修理・改造しない

→ 修理は販売店へご相談ください。

■ 電源プラグをぬらさない(電源プラグは防水構造ではありません)

→ ぬれた場合は、電源プラグに手を触れず、販売店へご相談ください。

■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

・ 傷つける、加工する、熱器具に近づける、コードに過度なストレスを加える(無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど)
(傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因)
→ 修理は販売店にご相談ください。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V 以外での使用はしない

(たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因)

■ 雷が鳴ったら、本機・電源プラグに触れない

■ ホースなどで直接、水をかけない※

■ 機器内部に水をかけたり、ぬらしたりしない※

※ぬれた場合は、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切って販売店へご相談ください。



警告

火災・感電・漏電などを防ぐために



禁止

■ 機器内部に金属物を入れない

→ 金属物が入った場合は、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切って販売店へご相談ください。



■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

(差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因)
→ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる

(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因)
→ 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

■ 煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切る

(そのまま使用すると、火災や感電の原因)
→ 使用を中止し、販売店へご相談ください。

■ 電源プラグを抜くときは、プラグ本体(金属でない部分)を持って抜く

(コードを持って抜くと、コードの断線による火災・感電・やけどの原因)



警告

事故やけがなどを防ぐために



禁止

■ 本機や電源コードを引っ張ったり、ぶらさがったりしない
(電源コードが抜けることによる感電や、カメラの落下によるけがの原因)

■ 落下させたり、強い衝撃を加えない

■ microSD カードや防水キャップは、乳幼児の手の届くところに置かない

(誤って飲み込むおそれあり)
→ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



■ 心臓ペースメーカーをお使いの方は、本機から 15 cm 以上離れて使用する
(本機からの電波が、ペースメーカーの作動に影響を与える場合あり)



注意

火災・感電などを防ぐために



禁止

■ 湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

事故やけがなどを防ぐために

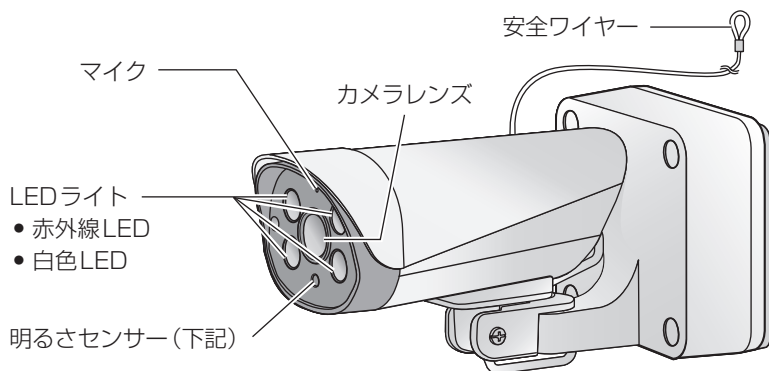


禁止

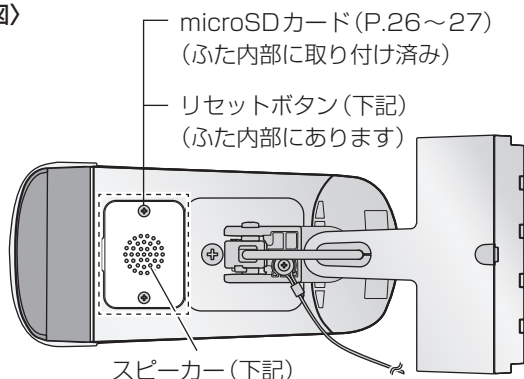
■ スピーカーに耳を近づけて使用しない
(急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こすおそれあり)

■ LED ライト点灯時にライトを直視しない
(目を痛める原因)

各部の名前と働き



〈真下から見た図〉



■明るさセンサーについて

周囲の明るさを検知して昼夜を判定するセンサーです。

夜間(暗い場合)は[ナイトビジョンモード]の設定によりLEDライト(赤外線LEDまたは白色LED)が点灯します。(詳細設定はアプリの取扱説明書を参照)

お知らせ

- 周辺温度が40℃を超えると[ナイトビジョンモード]への切り替えが正しく動作しない場合があります。LEDライトが点灯しないことがあります。

■スピーカーについて

カメラから鳴る検知音はスピーカーから聞こえます。([検知音]の初期値はOFFです)

ご使用の際は、この音が設置場所周辺で騒音とみなされないよう、音量を調整してください。(詳細設定はアプリの取扱説明書を参照)

■リセットボタン(初期化ボタン)について

カメラをお買い上げ状態に戻します。(P.27)

アプリをインストールする



スマートフォンの操作

- 1 アプリのダウンロードサイトで「おうちレコーダー」アプリを検索してインストールする

おうちレコーダー



- 2 アプリを起動し、アプリの登録に必要な同意や許可の操作を行う

- 利用規約とプライバシーポリシーなど、同意を求める画面では内容をよく読み、[同意する]や[OK]をタップしてください。(同意しないと、アプリを利用できません)
- その他、許可を求めるメッセージが表示されたら、許可してください。
- カメラ接続は (P.22～25)



お知らせ

- アプリのダウンロードには通信料がかかります。インターネット利用料やスマートフォンの通信料をご確認ください。契約によっては、通信料が高額になる場合があります。(Wi-Fi接続でのご利用をお勧めします)

対応しているスマートフォンについて

対応OSの最新情報と動作確認済の機種は下記のサポートサイトをご確認ください。(一部の機種で使えない機能などもあります)
<https://panasonic.jp/s/o/anO>

「おうちレコーダー」アプリについて

次の主な機能を利用できます。
詳しくはアプリの取扱説明書をご確認ください。(P.25)

- 録画再生：動作検知・人検知した録画を再生できます。
- ダウンロード：録画データをスマートフォンにダウンロードし、アルバムに保存できます。
- メッセージ：動作検知・人検知した検知録画の履歴を表示します。
それぞれの検知録画の再生ができます。
- モニター機能：カメラの映像を確認(モニター)できます。
- スナップショット：カメラ映像をスナップショットで撮り、アルバムに保存できます。
- アプリの右上の設定アイコン(⚙)から次のような各種機能の設定を変更できます。
 - APモードの設定 (SSIDとパスワードの変更)
 - 検知設定 (検知音、検知感度や非検知エリア設定) など



お知らせ

- カメラを操作するときは、1台のスマートフォンでアプリの操作をしてください。複数のスマートフォンで、カメラに同時接続しながら操作することは保証の対象外です。

使用上のお願い

電波を使う次の機器から離す

電波干渉によるノイズ発生などの原因になります。

- 電子レンジ
- ワイヤレスAV機器(テレビ・ステレオ・パソコンなど)その他、以下の機器も影響がある場合があります。
 - ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - 万引き防止システム(書店やCDショップなど)
 - アマチュア無線局
 - 工場や倉庫など物流管理システム
 - 鉄道車両や緊急車両管理システム
 - マイクロ波治療器
 - その他、Bluetooth®対応機器やVICS(道路交通情報通信システム)など

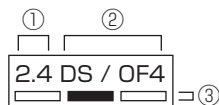
電波について

● 使用周波数帯

本機は2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

● 周波数表示の見かた

周波数表示は、定格銘板に記載しています。



- ① 2.4 GHz帯を使用
- ② 変調方式が DS-SS方式/OFDM方式で、電波干渉距離40 m以下
- ③ 2.427 GHz～2.47075 GHzの中域のみを使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する

● 本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源を切って、P.38の「ファクス・電話機・ドアホンご相談窓口」にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、P.38の「ファクス・電話機・ドアホンご相談窓口」へお問い合わせください。

通信について

- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びている場所、電磁波が発生している場所では使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると、雑音が大きくなったり、通信ができなくなる場合があります。(特に電子レンジを使用する際に影響を受けることがあります)
- 距離が離れていたり、電波を通しにくい障害物や電波を反射する物体があると、通信できないことがあります。
 - 金属製のドアや雨戸、シャッター
 - アルミはく入りの断熱材が入った壁
 - コンクリートやトタン製の壁
 - 複層ガラスの窓
 - 壁を何枚もへだてたところ

通信の傍受について

本機はデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。

セキュリティについて

本システムの使用時は下記のセキュリティリスクを防ぐために適切な措置をとってください。

- 本システムを経由した個人情報の流出
- 第三者による、本システムの違法な使用
- 第三者による、本システムの使用干渉および使用停止

〈必要な措置や対応について〉

- 機器が不正に操作されるのを防止するため、パスワードは定期的に変更してください。
- 容易に推測可能なパスワードを設定すると、第三者にパスワードを見破られるおそれがあります。「パスワード」は推定が難しいものを設定していただき、その控えは漏れないように管理してください。
- スマートフォンを紛失した場合、パスワードを変更してください。
- スマートフォン内部の利用者情報漏えいを防止するために、端末ロック機能を有効にしてください。
- 修理時に設定情報を消去、変更される可能性があるため、重要なものは記録して保管しておいてください。
- 不要となったスマートフォンは、「おうちレコーダー」アプリをアンインストールしてください。また、スマートフォンのWi-Fi設定→ネットワーク設定から接続していたカメラのSSIDも削除してください。

プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

免責事項

- 本機の検知機能は、常に高い信頼性を求められる用途には適していません。常に高い信頼性を求められる監視などの用途には使わないことをお勧めします。
- 本機の検知機能を使うことによって生じた事故などの結果について、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

カメラの画質について

- 次のような場合があります。
 - 色合いが、実際の色と異なる
 - 逆光のとき、人の顔が暗くなる
 - 暗い場所で画質が低下する
 - 外灯を映すと、周りがかすんだようになる
- 次のような場合は、人が識別しにくくなります。
 - 夕方や夜間など、カメラの周囲が暗いとき
 - 動いている人の撮影（映像がぶれます）

正しくお使いいただくために

- P.8 のカメラレンズや明るさセンサーにキズや汚れをつけないでください。
(きれいに撮影できなくなったり、正しく検知できなかったり、変形や故障の原因になります)
- 直射日光やハロゲン光などの高輝度の被写体を、長時間映さないでください。
(撮像素子が破損する原因になります)

電源プラグを差し込む位置は…

電源プラグは、カメラの設置場所の近くで抜きやすい場所にある屋外コンセントに差し込み、異常が起きた場合にコンセントからすぐに抜けるようにしておいてください。

個人情報について (修理・譲渡・廃棄など)

本機に取り付けられている microSD カードには録画・録音データの個人情報が記録されます。これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

〈免責事項〉

- 記録された情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。記録された情報の変化、消失が生じて、それらに起因する直接または間接の損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

〈本機を譲渡・廃棄・返却するとき〉

- ご使用の microSD カードはアプリで設定アイコン (⚙) → [録画状況] → [SD カードのフォーマット] をしてください。
([SD カードのフォーマット] をすると、microSD カードに記録された情報が全消去されます)
(詳細設定はアプリの取扱説明書を参照)
 - microSD カードを廃棄・譲渡するとき (P.26)

その他

- 分解・改造することは法律で禁じられています。(故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください)
- 本書(カメラの設置)に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 使用を中止するとき
 - 「おうちレコーダー」アプリをアンインストールしてください。また、スマートフォンの Wi-Fi 設定 → ネットワーク設定から接続していたカメラの SSID も削除してください。
 - 万一の落下防止のため、本機を壁から取り外してください。電源線を直結している場合などは、取り外しをお買い上げの販売店にご相談ください。

お手入れについて

- 本機の誤動作防止のため、本機の電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。(カメラレンズ、LED ライトと明るさセンサーを強く押して拭くと、防水機能が失われ、カメラが故障する原因になります)
- 汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞って拭いてください。

〈電源プラグを拭くとき〉

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。



お願い

- ホースなどで直接、本機に水をかけないでください。(内部に水が入り、火災・感電などの原因になります)
- お手入れに、塩素を含む洗剤、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。(変色、変質の原因になります)

カメラの施工について

設置作業について

設置作業は、設置後の安全に関わる重要な作業です。設置中および設置後の事故を防ぐため、工事は販売店または専門の工事店に依頼してください。

施工をされる方へ

- 本書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、**施工前に必ずお読みください**。本書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。
- 電源プラグキャップおよび包装材料は、商品を取り出したあと適切に処理してください。
- 施工終了後は、必ず本書をお客様にお渡しください。
- 本書に記載のイラストや画面はイメージです。実際とは異なる場合があります。

付属品の確認

ご確認のうえ、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

□ねじA (4個) (4 mm × 25 mm)

先端が尖ったねじ



壁掛けアダプター
取り付け用

□ねじB (4個) (4 mm × 20 mm)

先端が尖っていないねじ



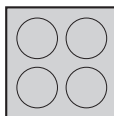
カメラ本体と
壁掛けアダプター
取り付け用

□安全ワイヤーセット (1式)

- 安全ワイヤー
- ねじ小
(2.6 mm × 10 mm)
- ねじ大
(4 mm × 25 mm)
- ワッシャー小 (φ 9 mm)
- ワッシャー大 (φ 16 mm)

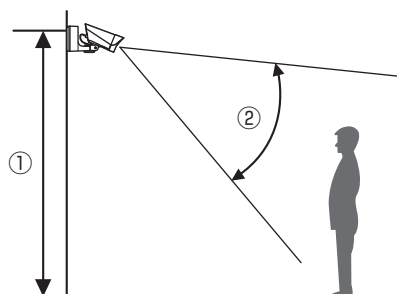


□ねじ隠し用シート (1枚)

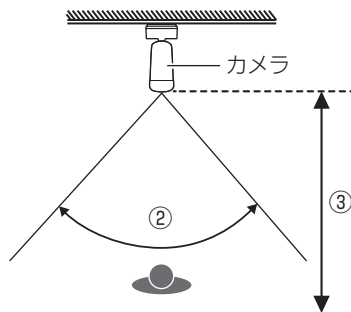


取り付け位置と撮影範囲

【横から見たとき】



【上から見たとき】



①取り付け高さの目安：2.5 m～3 m

②撮影範囲：垂直 約44°、水平 約83°

③ナイトビジョン距離：約10 m※1

※1 夜間（暗い場合）に[ナイトビジョンモード]/[LED点灯モード]の設定で、赤外線LEDまたは白色LEDが点灯した場合の撮影可能な距離

設置上のお願い

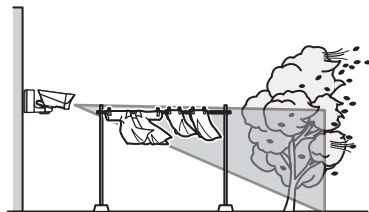
工事について

- 電源について：必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。
 - (1) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）に容易に手が届くこと。
 - (2) 容易にアクセス可能な分電盤のブレーカーに接続する。
ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。
- 本機は電気設備技術基準による施工を行ってください。
 - 配線材はAC600 V以上の絶縁電線を使用する。
- 屋外設置で電源プラグを使用するときは、本機の近くに屋外用の電源コンセントや電源ボックスを設置してください。（電源プラグは防水対応ではありません）
- 空中配線はしないでください。（カメラが雷などの影響を受けることがあります）

こんなところに設置しない(設置場所について)

変形・変色、故障・動作障害などを避けるために…

- 長時間、直射日光が当たる場所(特に猛暑日が続く地域)や外灯の真下など(周囲が動作温度内でも局部的に高温になるため、外気温が高い地域は軒下に設置するなどして遮光してください)
- 強風の吹く場所(カメラが風で振動するため、誤って動作検知することがあります)
- 風などで動くような植木、洗濯物などがある場所(動きの変化による誤検知)
- 振動・衝撃や、反響の多い場所
- 火気・熱器具や、磁石などの磁気の近く
- 冷・暖房機(室外機を含む)の近く
- 強い電波を発する製品の近く
- テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコン、給湯器リモコン(インターホン機能付き)、ホームセキュリティ関連装置の近く(ノイズ発生の原因)
- 油汚れがついたり、蒸気がかかる場所
- 海からの近距離など潮風の影響を直接受けやすいところ(塩害による外観劣化や製品寿命が短くなる原因)
- 硫化水素、アンモニア、ほこり、硫黄、有毒ガスなどの発生する場所



映像の障害や劣化を避けるために…

- 外灯などの照明機器が近接して設置してある場所(光の映り込みで映像に影響があるため)

外壁材の種類に応じた注意事項

サイディングの場合

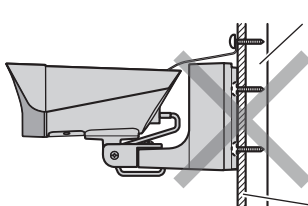
- 付属のねじA(呼び径4 mm、長さ25 mm)をお使いください。その際、ねじの引き抜き強度は、必ず1本あたり294 N(30 kgf)以上を確保できるように設置してください。
- サイディング外壁だけで重量を支持するとサイディングが損傷するおそれがあります^(※1)必ず、サイディングの内側にある柱などの構造体で支持できる場所に設置してください^(※2)
 - サイディングの厚みなどにより、構造体で支持できない場合は、市販のねじ(呼び径4 mm、長さ25 mmより長いもの)を使用してください。
- サイディングの材質に適したドリルで下穴を開けてください。下穴を開けたあとは、粉を取り除いてください。



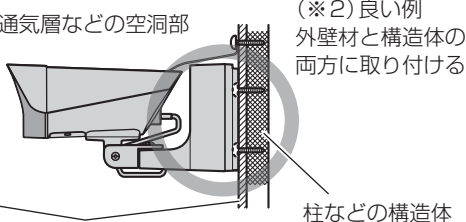
お願い

サイディングの内側の構造体には、下穴を開けないように注意してください。

(※1) 悪い例
外壁材のみへの
取り付けは禁止



通気層などの空洞部



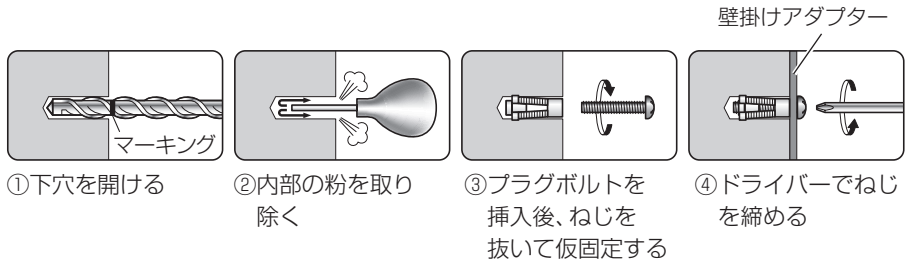
(※2) 良い例
外壁材と構造体の
両方に取り付ける

柱などの構造体

サイディング

コンクリートの場合

- 付属のねじは使えません。
市販のコンクリート用プラグボルト（ねじの呼び径4 mm、かつ、⊕ドライバーで締められるタイプ）をお使いください。それ以外のタイプのねじでは、取り付けできません。
- 取り付け前にプラグボルトの説明書をお読みいただき、ドリル径と穴の深さを確認してから、下記の手順でプラグボルトを壁に取り付けてください。



ALC（軽量気泡コンクリート）の場合

- ALCパネルの種類（厚みなど）によっては取り付けられない場合もあります。
取り付ける前に、ALCパネルメーカーにお問い合わせください。

〈取り付け可能な場合〉

- 付属のねじは使えません。
- 必ず、市販の金属製のALC用アンカー（ねじの呼び径4 mm、かつ、⊕ドライバーで締められるタイプ）をお使いください。それ以外のタイプのねじでは、取り付けできません。
- 取り付け前にアンカーの説明書をお読みいただき、ドリル径と穴の深さを確認してから、アンカーを壁に取り付けてください。
- ALC用ドリルで下穴を開けたあとは、粉を取り除いてください。
- 下穴の周囲部を防水シール剤（市販品）で防水処理をしてください。

その他の壁（モルタル・タイル材など）

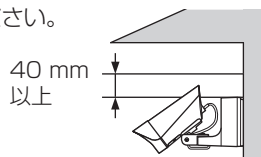
- 付属のねじは使えません。
住宅会社または工務店にお問い合わせのうえ、適切なねじやアンカーを使って取り付けてください。
- 石こうボード、コンクリートブロック、屋外に露出した木材などには設置できません。

カメラを設置する

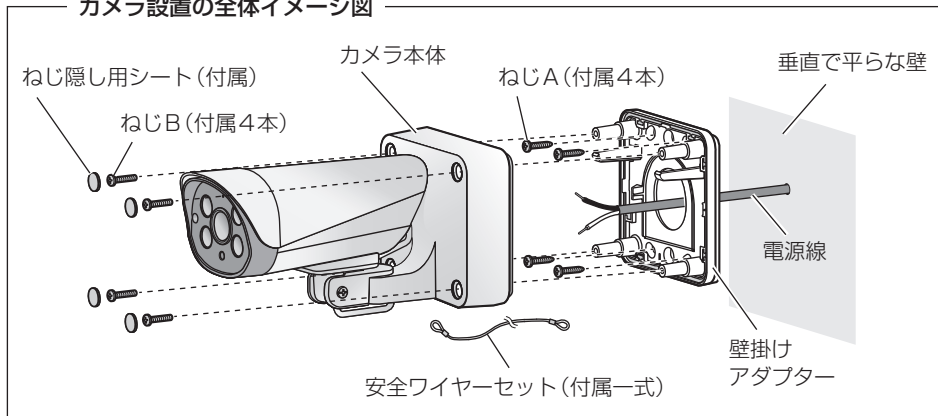


お願い

- 天井には、取り付けしないでください。
- 雨どいなどから直接水がかかるのを避けて設置してください。
- 壁への穴開け工事について、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 穴を開けた部分には必ず防水処理をしてください。
- 付属の安全ワイヤーを使用して、必ず落下防止対策を行ってください。
- 取り付け場所のねじ引き抜き強度は、1本あたり294 N (30 kgf) 以上です。
(上記の引き抜き強度を確保できない場合には、必ず十分な強度を確保できる補強を行ってください)
- インパクトドライバーは使わないでください。(ねじの破損や締めすぎの原因になります)
- 隣家と近接した場所に設置するときは、LEDライトの光が隣の家に迷惑をかけないようにカメラの角度を調整してください。
- カメラの上側に40 mm以上のスペースを確保して設置してください。
(設置角度、または角度調整のスペース確保のため)



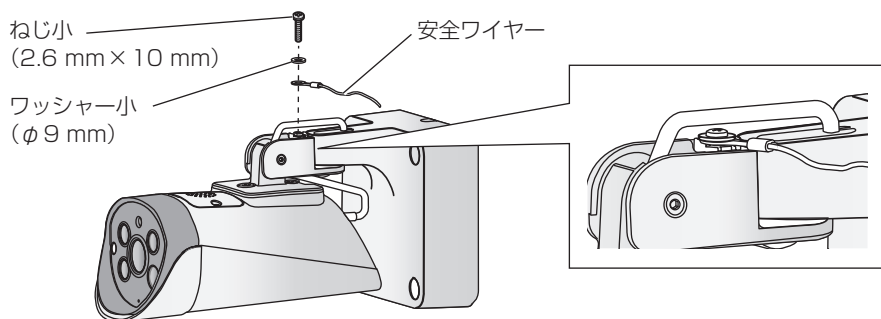
カメラ設置の全体イメージ図



1 テープで仮止めされた壁掛けアダプターをカメラから取り外す

2 付属の安全ワイヤーをカメラ本体に取り付ける

●安全ワイヤーはカメラ本体の下側に取り付けます。

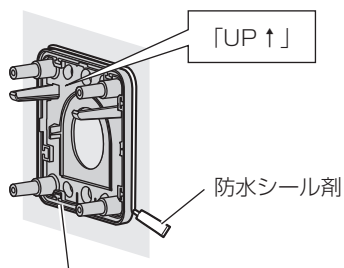
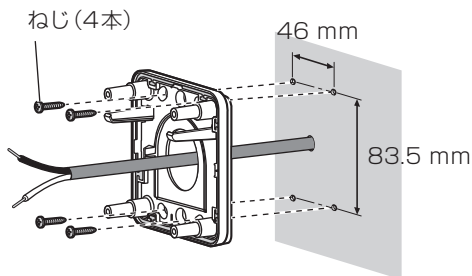


3 外壁材の種類に応じたねじ (4本) を使って壁掛けアダプターを壁面に取り付け、コーキングする

例) 外壁材がサイディングの場合

①ねじ A (4 mm × 25 mm、先端が尖ったねじ) 4本でしっかり取り付ける

②防水シール剤などで下部以外をコーキングする



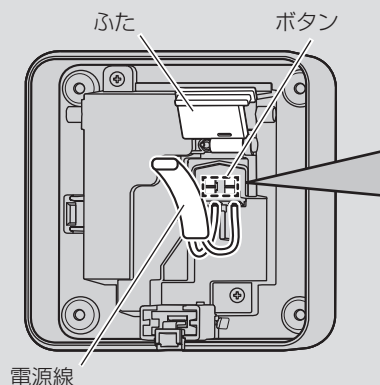
下部は水抜き穴があるためコーキングしないでください。

●壁掛けアダプターは「UP ↑」の表示が上になるように取り付け、上記のようにコーキングして、すきまを埋めてください。
(上下を逆にしたり、防水が不完全な場合、内部に雨水などが入り、火災・感電の原因になります)

カメラ本体にAC100 V電源線を直結する (電気工事士の資格がない方は、絶対に作業しないでください)

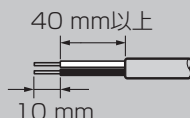
4 カメラに電源線を接続する

- ①カメラ本体の背面のふたを開ける
- ②直結するAC100 V電源線を右記のように接続して、ふたを閉める

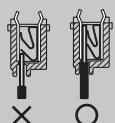


〈AC100 V電源線の接続方法〉

1. 被ふくを10 mmむく
(線種: $\phi 1.6 \sim \phi 2.0$ 単芯線)



2. ドライバーの先などでボタンを押しながら、AC100 V電源線を奥まで確実に差し込む



〈AC100 V電源線
接続端子断面図〉



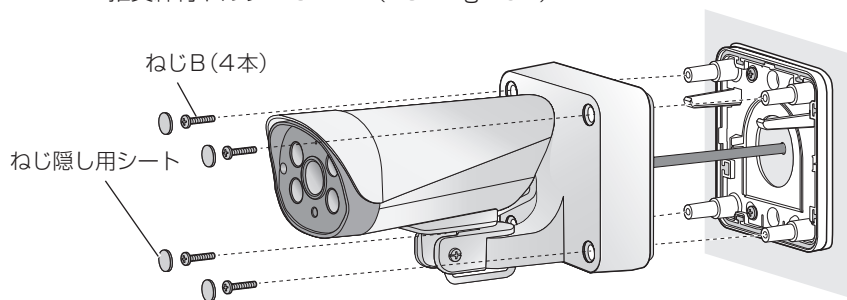
注意

奥まで確実に差し込む

❗ 差し込みが不完全な場合、発熱の原因になることがあります。

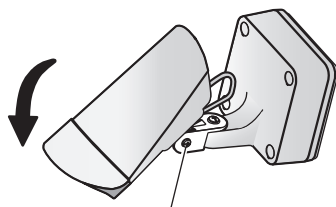
5 カメラ本体を壁掛けアダプターに取り付け、固定する

- ねじB (4 mm × 20 mm、先端が尖ってないねじ) 4本で取り付け、ねじ隠し用シートを取り付けてください。
- 推奨締付トルク 1.0 N・m (10.2 kgf・cm)



ねじBを締めるとき

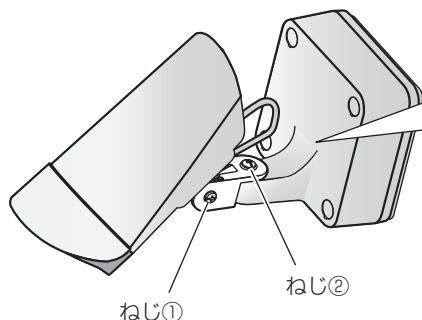
カメラ本体が正面を向いていると、ねじBが締めにくくなります。
右の要領でカメラ本体を下に回転させたあと、ねじBを締めてください。



カメラ本体を片手で支えながら、このねじをゆるめてカメラ本体を下向きに変える

6 カメラ本体の角度を調整する

- ねじ①②の推奨締付トルク
0.7 N・m (7.1 kgf・cm)



左右の角度を決めたあと、上下の角度を決めてください。

〈左右の角度調整〉

1. カメラ本体を片手で支えながら、ねじ①をゆるめる
2. ねじ②をゆるめ、左右の角度を調整する
3. ねじ②を締める

〈上下の角度調整〉

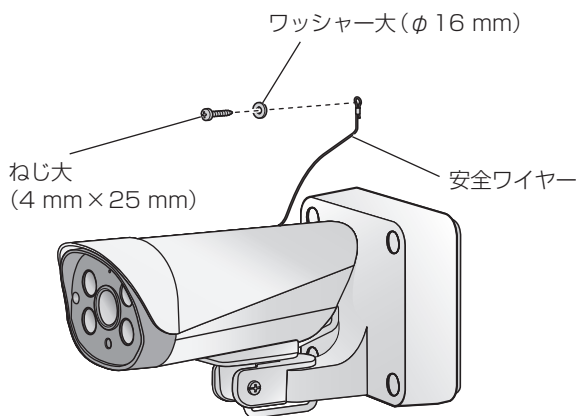
1. カメラ本体を片手で支えながら、上下の角度を調整する
2. ねじ①を締める

7 電源を入れてカメラとスマートフォンを接続し、撮影範囲の映像と音声を確認する (P.22～23)

- 撮影範囲がずれていたときは、カメラの角度を調整し直してください。

8 映像の確認やカメラ角度の微調整が終わったら、安全ワイヤーを壁に取り付ける

- 安全ワイヤーは、たわませた状態で取り付けてください。
- 壁への取り付けについて「外壁材の種類に応じた注意事項」(P.15～16)を必ずお守りください。
- 万一、カメラが壁から外れた場合に、人に当たらないよう、安全ワイヤーは、なるべく高い場所に取り付けてください。
- カメラにぶらさがったりしないでください。



別売の電源コードを取り付ける場合

この作業は、パナソニック製の電源コード（品番：PNJA1219Z※¹）を使用してカメラの設置が必要な場合のみ行ってください。別売の電源コードは、カメラ本体（裏面）の防水キャップを外して適切に取り付ける必要があります。

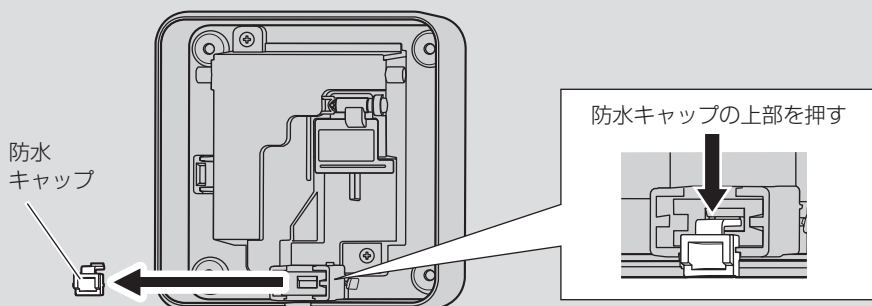
※¹ サービスルート扱いです。市販品での取り扱いはありません。

カメラ本体にAC100 V電源コードを取り付ける （電気工事士の資格がない方は、絶対に作業しないでください）

P.19の「カメラを設置する」手順4の作業を、以下の手順で電源コードを取り付けてください。

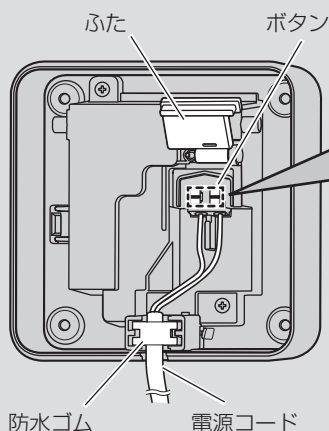
1 カメラに電源コードを接続する

①カメラ本体の背面にある防水キャップを取り外す（この防水キャップは使いません）



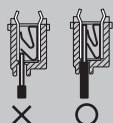
②カメラ本体の背面のふたを開ける

③AC100 V電源コードを下記のように接続して、ふたを閉める



〈AC100 V電源コードの接続方法〉

1. ドライバーの先などでボタンを押しながら、電源コードを奥まで確実に差し込む



〈AC100 V電源線
接続端子断面図〉

⚠ 注意

奥まで確実に差し込む



差し込みが不完全な場合、発熱の原因になることがあります。

2. 電源コードの防水ゴムは、防水キャップを外した位置に取り付ける

カメラ接続をする

設置時の初回接続と設定などについて（施工をされる方へ）



スマートフォンの操作

■ カメラ接続をする（ネットワーク接続）

- 1 アプリをインストールしたスマートフォンで設定画面からWi-Fi設定をONにする
- 2 ① Wi-Fiの選択画面から、下記に記載している本機の初期SSIDを選択する
② 下記の初期パスワードを入力する

初期SSID	（製品同梱の説明書を参照）
初期パスワード	

■ 初期パスワードとSSIDを変更する

- 3 アプリを起動し、パスワード変更のため、[変更する]をタップする
- 4 新しいパスワードを入力して、[設定]をタップする
 - パスワードは、半角の英大文字・英小文字・数字の3種類を含む8文字以上で入力してください。

新しいパスワードを入力してください

8文字以上で、アルファベットの大文字、小文字、数字を含める必要があります。

パスワードを再入力

- 6 新しいSSIDを入力して、[設定]をタップする

- SSIDは、半角の英数文字および「-」や「_」で入力してください。

新しいSSIDを入力してください

使用できる文字は、半角英数および「-」「_」です。

第三者による不正なアクセスを防ぐため、複数の住居にカメラを設置する場合は、他の住居のカメラと異なるパスワードとSSIDに設定してください。

- 7 新しいSSIDとパスワードを以下にメモする

〈施工業者用〉

新SSID	
新パスワード	

- メモした内容が紛失などにより第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。施工者様のご自身の責任で管理・保管してください。当社は不正利用された場合の責任は負いません。

- 8 [カメラを再起動]をタップする

- 接続中のカメラは切断されます。再接続するためには、新SSIDを選択し、新パスワードを入力する必要があります。

- 9 アプリを終了する

（終了のしかたはスマートフォンによって操作が異なります）

- 5 SSID変更のため、[設定]をタップする

■ カメラ再接続をする(ネットワーク接続)

- 10 スマートフォンの設定画面からWi-Fiの選択画面を開き、新SSIDを選択して、新パスワードを入力する

■ [録画設定] をONにする

- 11 アプリを再起動し、右上の設定アイコン(⚙)をタップする

- 12 [録画設定] をONにする

- ONに設定するとカメラが録画を開始します。(OFFのままでは、録画されません)

■ 検知を音で確認する場合は、検知音をONにする

([検知音]の初期値はOFFです。

検知の音が設置場所周辺で騒音とみなされる場合は、[検知音]をOFFのままでご使用ください)

- 13 右上の設定アイコン(⚙)をタップする

- 14 [検知設定] をタップし、[検知音] をONにする

- ONに設定するとカメラが検知した場合、検知音が鳴ります。(OFFのままでは、検知音は鳴りません)

■ カメラが正しく動作するか確認する

- 15 アプリでカメラ映像と音声を確認する

- 16 アプリの[メッセージ]から動作検知・人検知した検知録画の履歴を確認する(録画が終了するまでメッセージは表示されません)

続けて再生したい検知録画の[再生]をタップする

- 詳細操作はアプリの取扱説明書を参照してください。

■ 動作確認後、カメラに録画されたデータを消去する

- 17 右上の設定アイコン(⚙)をタップする

- 18 [録画状況] をタップする

- 19 [SDカードのフォーマット] をタップし、[OK] をタップする

- 録画データが全消去されます。



お願い

- P.22手順7で記入した新SSIDと新パスワードをお客様に伝えてください。お客様のカメラ接続に必要な情報です。

使用時の初回接続と設定について (お客様へ)



お願い

- 施工業者から施工時に設定したP.22手順7のSSIDとパスワード情報を確認してください。
- 第三者による不正なアクセスを防ぐため、施工業者が設定したSSIDとパスワードをお客様で自身で変更してください。



スマートフォンの操作

■ カメラ接続をする(ネットワーク接続)

- 1 アプリをインストールしたスマートフォンで設定画面からWi-Fi設定をONにする
- 2 ① Wi-Fiの選択画面から、施工業者が設定したSSIDを選択する
② 施工業者が設定した初期パスワードを入力する
(P.22手順7を参照)

■ お客様専用のパスワードとSSIDを変更する

- 3 アプリを起動し、右上の設定アイコン(⚙)をタップする
- 4 [APモードの設定]をタップして、[パスワード]をタップする

5 新しいパスワードを入力して、[設定]をタップする

- パスワードは、半角の英大文字・英小文字・数字の3種類を含む8文字以上で入力してください。

新しいパスワードを入力してください

8文字以上で、アルファベットの大文字、小文字、数字を含める必要があります。

パスワードを再入力

キャンセル 設定

6 SSID変更のため、[設定]をタップする

7 新しいSSIDを入力して、[設定]をタップする

- SSIDは、半角の英数文字および「-」や「_」で入力してください。

新しいSSIDを入力してください

※1

使用できる文字は、半角英数および「-」「_」です。

キャンセル 設定

※1 P.22手順7で入力されたSSIDが表示されます。

8 新しいSSIDとパスワードを以下にメモする

〈お客様用〉

新SSID	
新パスワード	

- メモした内容が紛失などにより第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。お客様のご自身の責任で管理・保管してください。当社は不正利用された場合の責任は負いません。

9 [カメラを再起動] をタップする

- 接続中のカメラは切断されます。
再接続するためには、新SSIDを選択し、新パスワードを入力する必要があります。

10 アプリを終了する

(終了のしかたはスマートフォンによって操作が異なります)

■ カメラ再接続をする(ネットワーク接続)

11 スマートフォンの設定画面からWi-Fiの選択画面を開き、新SSIDを選択して、新パスワードを入力する

■ [録画設定] がOFFの場合、ONにする

12 アプリを再起動し、右上の設定アイコン(⚙)をタップする

13 [録画設定] をONにする

- ONに設定するとカメラが録画を開始します。(OFFのままでは、録画されません)

■ 検知を音で確認する場合は、検知音をONにする

([検知音]の初期値はOFFです。
検知の音が設置場所周辺で騒音とみなされる場合は、[検知音]をOFFのままでご使用ください)

14 右上の設定アイコン(⚙)をタップする

15 [検知設定] をタップし、[検知音] をONにする

- ONに設定するとカメラが検知した場合、検知音が鳴ります。(OFFのままでは、検知音は鳴りません)

アプリの取扱説明書 (電子版)を確認する

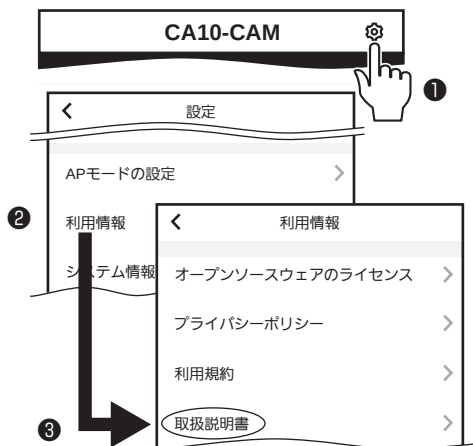
お使いのスマートフォンによっては、カメラと接続中はアプリの取扱説明書にアクセスすることができません。

カメラ接続を切ったあと、携帯電話回線経由または、インターネットに接続できるWi-Fi接続に切り替えて、アクセスしてください。
(通信料金はお客様のご負担になります。
Wi-Fi接続でのご利用をお勧めします)



スマートフォンの操作

- 1 アプリを起動し、右上の設定アイコン(⚙)をタップする
- 2 [利用情報] をタップする
- 3 [取扱説明書] をタップする
 - 取扱説明書(電子版)が表示されます。



microSDカードについて

本機で使えるmicroSDカード

本機はSD規格に準拠したmicroSDメモリーカードに対応しています。

(本書ではmicroSDメモリーカードを総称して「microSDカード」と記載しています)

- microSDカードは本機に取り付けられています。

対応のmicroSDカード

● 対応カードの種類

microSDHCメモリーカード: 32 GB
microSDXCメモリーカード: 64 GB、
128 GB

(本機に取り付けられているmicroSDカードは64 GBです)

● フォーマット

FAT32

(本機に取り付けられているmicroSDカードはFAT32でフォーマットされています)

● 最大記録容量(録画時間)

動画情報: 約72時間

(microSDカードが64 GBのとき)

録画がいっぱいになったとき (録画の自動更新)

新しい画像を録画するために、古い画像から順に自動で消去されます。

(手動で画像を消去しなくても、録画できます)

microSDカードの取り扱いについて

■ 大切なデータを保護するために

データの読み出し中や書き込み中は、microSDカードや電源を抜かないでください。microSDカード内のデータが破壊されることがあります。また、電磁波、静電気、本機やmicroSDカードの故障などによってもmicroSDカード内のデータが壊れたり、消失することがありますので、大切なデータはバックアップをとることをお勧めします。

データの損失などにより発生した損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

microSDカードを廃棄・譲渡するとき

microSDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

本アプリ機能やパソコンによる「フォーマット」や「消去・削除」では、多くの場合、microSDカード内のデータは完全には消去されません。譲渡の際は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってmicroSDカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。

また廃棄の際は、microSDカードを物理的に破壊するか、microSDカード内のデータを完全に消去して、地域ルールに従って、分別廃棄をお願いします。

データをパソコンで再生する

microSDカードに記録した画像・映像データはパソコンで再生することができます。

- 再生に使用するソフトの対応OSによっては、正しく再生されない・正しく動作しない場合があります。
- 再生操作のしかたは、パソコンの取扱説明書または再生ソフトの取扱説明書をお読みください。
- microSDカードの録画データは、フォルダーが自動的に作成されます。フォルダー構造については、下記のサポートサイトをご確認ください。
<https://panasonic.jp/s/o/avi>



お願い

- パソコンでフォルダーやファイルの消去をしたり、名称の変更をしたりしないでください。本アプリで再生できなくなります。

microSDカードの交換/ 取り出しとカメラ操作に ついて

■ microSD カードの交換/取り出しとカメラ操作(リセットボタンを押す・角度調整など)をする場合、高所作業となり危険を伴いますので、修理ご相談窓口(P.38)へご連絡ください。

■ これらの作業をお客様ご自身で実施する場合、高所作業となり危険を伴いますので次のようなことをご注意ください。
なお、高所作業に不慣れな方や、適切な安全措置をとることが難しいと感じる場合は、修理ご相談窓口(P.38)にご連絡することを強く推奨します。

- 安定した台を使って必ず2人以上で行い、安全を十分確保する
(例：不安定な台に乗らない)
- カメラふたの開閉の作業時に microSD カードを落下などで破損や紛失をさせない
- カメラふたの開閉の作業中にねじを破損させたり、落下で紛失させない
 - 必ず、ねじサイズにあったドライバーを使用してください。(電動ドライバーは使わない)
 - カメラふたを閉じるとき、ねじ2か所を正しく締めないとカメラ内に水が浸入し、故障の原因になります。
 - ねじを破損または紛失した場合、本機と同じ仕様のねじを購入してください。
- パソコンなどの他機器で使用した microSD カードを使用しない
(microSD カード内の保存されたデータが消去される可能性があります)
- microSD カードを交換後はアプリでフォーマットする(フォーマットすると、microSD カードに記録された情報が全消去されます)

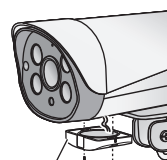
〈免責事項〉

microSD カードの交換/取り出しとカメラ操作することによって生じた事故などの結果や発生した損害については、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。(保証の対象外です)

カメラふたの取り外し方/取り付け方

左記をよくお読みのうえ、作業を行ってください。
microSD カードを取り出す前に、アプリの[録画設定]をOFFにしてください。

1 カメラふたのねじを取り外す

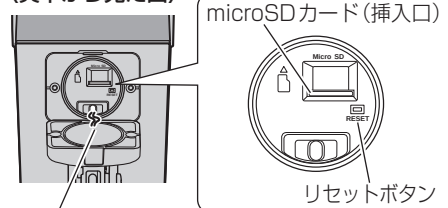


〈ねじ仕様〉
M2.5 × 6
(ヘッドφ 5 mm以下)
プラスチック用
Pタイプ

カメラふた ねじ(2か所)

2 microSD カードを交換/取り出す、またはリセットボタンを押す

〈真下から見た図〉



スピーカーのリード線

■ microSD カードについて

- 取り出すとき：カチッと鳴るまで押し込んで取り出してください。
- 入れるとき：裏面の端子部を図の下側にして、カチッと鳴るまで挿入口にまっすぐ押し込んでください。

■ リセットボタンについて

ペン先などの細いもの(ただし、先端が鋭くないもの)で約5秒間、長押ししてください。カメラでアナウンスが流れて、初期化が開始されます。(お買い上げ状態に戻ります)

3 カメラふたを閉じてねじを締める

- スピーカーのリード線を挟み込まないように、穴の中に処理してください。
- ねじ周辺部の破損を防止するため、ねじ2か所を交互に少しずつ回して締めてください。(ふたとカメラ本体に大きな段差がなくなるまで)
 - 推奨締付トルク 0.1 N・m
(1.02 kgf・cm)

4 アプリの[録画設定]を必ず、ONに戻す

- ONに設定するとカメラが録画を開始します。(OFFのままでは、録画されません)

仕様

電 源	AC 100 V (50 Hz／60 Hz)
消費電力	- LEDライト消灯時 約3.0 W - LEDライト点灯時 約6.5 W
外形寸法 (mm) (高さ ×幅×奥行)	約110 × 110 × 237 (壁掛けアダプター含む)
質 量	約635 g
取付方法	付属の壁掛けアダプターを使用
使用環境 条件	周囲温度： - 10℃ ～ +50℃※1 湿度：20％～90％ (結露なきこと)
通信可能 距離	約5 m (障害物無し)
撮像素子	300万画素 高感度CMOSセンサー
記録方式	動画情報：MPEG4 (動画部分：H.264、 音声部分：AAC)
解像度	2304 × 1296
フレーム レート	25 fps
無線 インター フェース	無線LAN (2.4 GHz)、 アクセスポイントモード 規格：IEEE802.11 b/g/n、 2.4 GHz [6ch固定] 暗号化方式： WPA2-PSK (AES)
最低被写体 照度	0ルクス (赤外線LED／白色LED)
フォーカス 範囲	固定 (約1.0 m～∞)

撮影範囲 (カメラ 画角)	水平：約83° 垂直：約44°
取付角度 調整	水平：±約90° 垂直：正面～下方向へ 約60° (取り付け時に設定可)
検知方式	動作検知および人検知
LEDライト	赤外線LED：4個 白色LED：4個
ナイト ビジョン	あり (スマートモード／赤外線 モード／カラーモード)
ナイト ビジョン 距離	約10 m※2
防塵・ 防水性	IP54※3

※1 周辺温度が40℃を超えると[ナイトビジョンモード]への切り替えが正しく動作しない場合があります、LEDライトが点灯しないことがあります。

※2 夜間(暗い場合)に[ナイトビジョンモード] / [LED点灯モード]の設定で、赤外線LEDまたは白色LEDが点灯した場合の撮影可能な距離

※3 防塵性規格等級5：
機器の所定動作および安全性を阻害する塵埃は入らないレベル

防水性規格等級4：
あらゆる方向からの飛まつによる水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

商標・著作権・ ライセンス

商標について

- Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Bluetooth® ワードマークはBluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。
- その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

著作権について

- この製品には、フリーソフトウェア財団のGPL、LGPL、およびその他の条件に基づいたオープンソースソフトウェアを使用しています。関連する条件はこのソフトウェアに適用されます。本製品に表示されるGPLやLGPLのライセンス情報、オープンソースソフトウェアについての情報は、ホームページへ掲載しています。GPL、LGPLの条件のもとで認可されたソースコードは公開されています。これらのソフトウェアについては保証の範囲外となりますので、あらかじめご了承ください。製品販売後、少なくとも3年間、パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社はコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPLおよびその他のオープンソースソフトウェアの利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPLソフトウェアおよびその他のオープンソースソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコード、および著作権表示のリストを頒布します。上記記載内容へのお問い合わせや関連するソースコードの入手方法については、下記URLをご参照ください。
<https://panasonic.jp/s/o/alq>

ライセンスについて

- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - (i) 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
 - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ(<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

困ったとき

カメラの機能設定などを変更することで改善できる場合があります。

- 右記のQRコードから「よくあるご質問」を確認できます。

(通信料金はおお客様のご負担になります)

- スマートフォンなどでQRコードを読み取り、表示されたサイトにアクセスしてください。

<https://panasonic.jp/s/o/avi>

動画・説明

よくある
ご質問
1880



日時(時計)設定

録画データの日時(時計)が正しくない

- 次のような場合、カメラ内部の日時(時計)はリセットされ、録画データの日時(時計)がずれることがあります。
 - 停電など電源が切断されたとき
 - 電源の瞬断などでカメラが再起動したとき
 - カメラ内のソフトのリセット機能が作動したとき
 - スマートフォンからカメラを再起動したとき
- ➔ 電源復帰後にアプリでカメラに接続してください。
アプリに接続すると自動で日時(時計)が補正されるため、定期的にアプリに接続してください。(日時(時計)がずれた録画データは、補正されません)

カメラの接続や動作

カメラ接続ができない

- 次の場合、スマートフォンのネットワーク設定が正しくない可能性があります。
 - カメラ以外のSSIDが選択されているとき
→ 正しいSSIDを選択してください。(選択後、アプリを終了し再起動してください)
 - 同じSSIDの別のカメラに接続したとき
→ 複数のカメラを設置している場合、アプリで接続したいカメラのSSIDに変更してください。(変更後、アプリを終了し再起動してください)

カメラの白色LEDライトが点滅している

- 録画ができない状態で、次のようなことが考えられます。
 - microSDカードが本機に挿入されていない
→ microSDカードを挿入してください。
 - フォーマットしていないmicroSDカードが挿入されている
→ アプリでmicroSDカードをフォーマットしてください。
(詳細はアプリの取扱説明書を参照)
 - microSDカードの劣化で読み書きができない
→ アプリでmicroSDカードをフォーマットしてください。復旧しない場合は、新しいmicroSDカードに交換してください。(P.26～27)
 - カメラが故障している
→ 修理ご相談窓口(P.38)へご連絡ください。

正しく操作しても動かない、動作がおかしい

- アプリを起動後に右上の設定アイコン(⚙)をタップし、[カメラの再起動]をタップしてください。ただし、カメラの日時(時計)がずれますので、カメラの再起動後は、必ずアプリを再接続してください。
- スマートフォンにセキュリティソフトウェアをインストールしている場合、カメラとの接続やアプリの一部機能が動作しないことがあります。
→ セキュリティソフトウェアを一時的に停止してご利用ください。
なお、セキュリティソフトウェアの一時停止については、お客様の責任で実施してください。
(詳細は、お使いのセキュリティソフトウェア取扱説明書をご確認ください)

起動音・検知音が途切れる

- カメラ内の処理動作が重なったとき、起動音・検知音が途切れることがあります。(故障ではありません)

録画時間(最大記録容量P.26参照)が短くなった

- microSDカードを長く使い続けると、データ記録速度の低下や、記録時間が短くなる場合があります。
→ 最初に大切なデータをバックアップしたあと、microSDカードのフォーマットをしてください。
フォーマットすると、microSDカードに記録された情報が全消去されますので、必要に応じて本アプリ機能による「保存」やパソコンにバックアップをしたあとにフォーマットすることをお勧めします。
(アプリ内への保存やフォーマットのしかたはアプリの取扱説明書を参照)

動作検知と人検知の動作

動作検知が頻繁に反応する

- 車が通るたびに反応する
- 照明のON/OFFに反応する
- 雨や雪に反応する

- 動作検知の場合は、カメラで映る領域のすべての動きや明るさの変化を検知して反応するため、検知したい被写体以外にも反応します。
 - 検知範囲に車が入り込んだとき
 - 近くの照明がON/OFFしたとき
(車本体の動きや、車のヘッドライトまたは照明のON/OFFによる明るさの変化を検知して、動作検知が反応します)
 - 検知範囲に、風で動くような植木・洗濯物・カーテンなどがあるとき
 - 犬や猫などの小動物が検知範囲に入り込んだとき
 - 雨や雪が降っているとき
- ➔ [検知エリア] の設定で、検知したくないエリアを非検知エリアに設定するなどの処置をしてください。(詳細設定はアプリの取扱説明書を参照)
- ➔ 上記の設定をしても動作検知のエリアで頻繁に検知が発生する場合は、[検知感度] の設定を、より低い感度に変更してください。(詳細設定はアプリの取扱説明書を参照)

動作検知が反応しない

- 次の場合は、動作検知が働かないことがあります。
 - 被写体の動きが小さいとき
 - 背景色と被写体の色が似ているときなど
- ➔ [検知感度] が低い設定になっている場合は、より高い感度に変更してください。(詳細設定はアプリの取扱説明書を参照)
- 被写体が暗くなる夜間は検知しにくくなります。

動作検知をしているが人がいるのに人検知として反応しない

- 人検知の場合は、カメラで映る領域に人が映ったときに反応します。
次の場合は、姿や大きさで人として検知できず人検知が働かない場合があります。
 - 背景色と服の色が似ているとき、体の一部しか映っていないときなど
 - 自転車やバイクに乗っている人など
- 被写体が暗くなる夜間は検知しにくくなります。

人がいないのに反応する

- 撮影条件によっては人以外も、人として検知する場合があります。
 - ➔ 頻繁に検知が発生する場合は、[検知感度] の設定を、低い感度に変更してください。(詳細設定はアプリの取扱説明書を参照)

人検知が頻繁に反応する(人が通るたびに反応する)

- 検知範囲の中に、人通りの多い道などがあると頻繁に反応することがあります。
 - ➔ [検知エリア] の設定で、検知したくないエリアを非検知エリアに設定するなどの処置をしてください。(詳細設定はアプリの取扱説明書を参照)

明るさセンサーによるLEDライトの自動点灯

暗いのに、被写体がいてもLEDライトが点灯しない

- [ナイトビジョンモード] の設定が [赤外線モード] (初期値) になっています。
 - ➔ 白色LEDライトを点灯させるには [スマートモード] または [カラーモード] に変更する必要があります。(詳細設定はアプリの取扱説明書を参照)
- 次の場合は、明るさセンサーが反応せずLEDライトが点灯しない場合があります。
 - 前方にガラスなど反射するような障害物があるとき
- [LED点灯モード] の設定が [オフ] になっていませんか？
 - ➔ 設定を [自動] に変更してください。(詳細設定はアプリの取扱説明書を参照)

動作検知・人検知していないのに、LEDライトが点灯する

- 次の場合は、LEDライトが点灯することがあります。
 - 近くの照明がON/OFFしたとき
 - [LED点灯モード] の設定が [オン] のとき
- ➔ 設定を [自動] に変更してください。(詳細設定はアプリの取扱説明書を参照)

LEDライトが点灯しにくくなった

- 明るさセンサーの表面が汚れている可能性があります。
 - ➔ 表面を柔らかい乾いた布で拭いてください。
(強く押して拭くと、防水機能が失われ、カメラが故障する原因になります)
- カメラの周囲に外灯や自動販売機が設置されるなど、環境が変化していませんか？
 - ➔ 周囲が明るくなるとLEDライトが点灯しにくくなります。

映像について

映像が乱れる

- 無線が混信しているなど無線環境が悪い場合、映像が乱れることがあります。(故障ではありません)

人物がまったく、またはほとんど録画されていない

- 次のような場合、うまく録画されていないことがあります。
 - ・ 検知エリアの境界付近にいる人の動き
 - ・ カメラの前をゆっくり、または小走りで横切った人の動き

映像がはっきりしない(焦点が合わない)

- カメラレンズが汚れている可能性があります。
 - ➔ カメラレンズを柔らかい乾いた布で拭いてください。
(強く押し拭くと、防水機能が失われ、カメラが故障する原因になります)

映像が適切な明るさにならない

- カメラの設置場所の明るさが、急激に変化しています。
 - ➔ 数秒お待ちください。自動で補正されます。

画面にノイズがたくさん発生してぼけたような映像になり、人の顔などが識別しにくい

- 暗い場所で撮影した映像は、撮像素子の特性によるノイズのため、人の顔などが識別しにくくなります。(故障ではありません)
 - ➔ 補助灯などの設置をお勧めします。

被写体がぶれる

- 動きのある被写体を映すとぶれることがあります。
(撮像素子の特性で、故障ではありません)
- 暗い場所で撮影した映像や、暗い被写体を撮影しているときはシャッタースピードが遅くなり、被写体がぶれやすくなります。
 - ➔ 補助灯などの設置をお勧めします。

映像に白点または色のついた光の点が表示される

- 暗い場所で撮影した映像や、暗い被写体を撮影しているときは、画面全体に白点または色のついた光の点が生じることがあります。(撮像素子の特性で、故障ではありません)
 - ➔ 補助灯などの設置をお勧めします。

色ムラ(ちらつき)が発生する

- 蛍光灯など交流電灯の照明によって、しま模様になることがあります。(フリッカー現象)(故障ではありません)

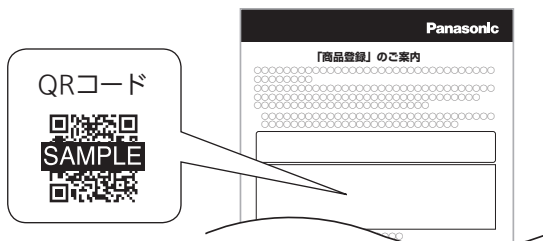


「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、登録商品のサポートも充実
詳しくはこちら <https://club.panasonic.jp/aiyo/>



- 本機に添付の『「商品登録」のご案内』に表示してあるQRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます。



ご相談の前に

- ① P.30～34の「困ったとき」をご確認ください。
- ② P.38のサポート総合窓口の「よくあるご質問」「メールでお問い合わせ」などもご活用ください。

修理などは…

■ **まず、お買い求め先へご相談ください。**

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () -

お買い上げ日 年 月 日

品 番

修理を依頼されるときは…

上記①でご確認のあと、直らないときは、お買い上げ日・品番・下記内容をご連絡ください。

製品名	屋外レコーディングカメラ
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談の際は、本機に表示されている品番もお伝えください。

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間** **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

■ 修理ご相談窓口はP.38をご参照ください。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、P.38に記載の、ご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

 お願い

- 停電などの外部要因により、録画などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼する前に、「個人情報について」を必ずお読みください。(P.12)

愛情点検

長年ご使用の屋外レコーディングカメラの点検を！



こんな症状はありませんか

- 電源を入れても動かないことがある。
- こげくさい臭いや異常な音、振動がする。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、必ず販売店に点検をご相談ください。

- 本機は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■ This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

サポート総合窓口 <https://panasonic.jp/support>



**ファクス・電話機・ドアホン
使い方・お手入れなどのご相談窓口**



0120-878-983

パナは キュウハチサン

受付時間
9:00～18:00 月～土曜日
(祝日・正月三が日を除く)



■上記電話番号がご利用いただけない場合

06-6907-1187

■FAX フリーダイヤル

0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03)3256-5444 **Osaka** (06)6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)



修理のご用命は

修理ご相談窓口 ※インターネットでのご依頼も可能です。

【受付時間】月～土 / 9:00～19:00 日・祝日・年末年始 / 9:00～18:00

パナニ イコー ※携帯電話からでもご利用になれます。



0120-872-150

●上記番号がご利用いただけない場合は…

06-6906-1090

<https://sumai.panasonic.jp/support/repair/>



(ドアホン)

- ご相談の際は、本機に表示されている品番もお伝えください。
- 本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。
- ご使用の回線 (IP電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ご相談におけるお客様の個人情報などのお取り扱いについてはP.37をお読みください。

パナソニック株式会社

パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2024

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障し、保証期間内に修理ご依頼いただいた場合には、無料修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
 - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合は、修理ご相談窓口にご連絡ください。
 - (ハ) この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入された販売店で修理をお受けになれない場合は、修理ご相談窓口にご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合は、原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) 取付場所の移設、輸送、落下、衝撃などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
ただし、車載を目的とした機器は除く
 - (ホ) 機器以外の障害（例えば接続された相手機器の故障や電話回線の故障など）による故障及び損傷
 - (ヘ) 電池や消耗または摩耗した部品交換の場合
 - (ト) 一般家庭用以外（例えば、業務用など）に使用された場合や指定外の動作環境で使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 本書のご提示がない場合や、本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (リ) 離島または離島に準ずる遠隔地への出張に要する実費
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 修理ご相談窓口は、本書表面をご参照ください。

修理メモ

- ※ ご記入いただいた個人情報、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございます。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものであり、本保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご覧ください。
- ※ 修理に際し、本体交換となる場合や再生部品、代替部品を使用する場合があります。交換した本体や部品は回収させていただきます。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

出張修理

屋外レコーディングカメラ保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には
本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載し
ております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い
上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	VL-CA10X
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
※ お買い上げ日	年 月 日
※ お客様	ご住所 お名前 電話 () -
※ 販売店	住所・販売店名 電話 () -

パナソニック株式会社

パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号 修理ご相談窓口 (0120) 872-150

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。